

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	小学校 1 年生・国語・お気に入りの本を紹介しよう
活用方法	4 つの学習過程を単元計画に位置付け、活用した。
成果等	実態を把握し、児童に身に付けたい力を明確にしなが 実践モデルプログラムのサイクルを意識し活用すること によって、主体的・対話的で深い学びを実現することが できた。

第 1 学年 国語科学習指導案

1 単元名 「動物キャラクターカード」を作って、お気に入りの本を紹介しよう
教材名 りすの わすれもの

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領・国語【第 1 学年及び第 2 学年】「C 読むこと」「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」を受けて設定したものである。

本単元では、「動物の出てくるおはなし」の並行読書を勧め、お気に入りの 1 冊に出会わせるようにしたい。さらに、その本を紹介し合う活動を通して、本のすばらしさや読書の楽しさを体感させ、進んで読書しようとする態度を育てていきたいと考える。

1 年生は、おはなしが大好きな児童が多い。教室で読み聞かせを始めようとする
と、我先に本の近くに集まってくる。幼いころから身近な大人から絵本の読み聞か
せをしてもらったり、テレビやビデオなどを視聴したりしていることで、昔話や童
話に親しみ、おはなしの楽しさを知っているからであろう。入学当初、「早く自分で
自由に本を読めるようになりたい。」と願っている児童も多いように感じる。しか
し、1 年生が、自分一人で本を読み、楽しさを実感することは、容易ではない。ま
ず、平仮名、片仮名、漢字を覚え、文章をすらすらと読むことができなければなら

様式2

ない。事柄の順序や内容をとらえるためには、たくさんの言葉を知り、語のまとまりや文の区切り、助詞や動詞、主語と述語に気付くことができなければならない。したがって、「本を読みましょう。」「好きな本を借りていいですよ。」と、言っているだけでは、児童は、読書好きには育たない。教室で担任が読み聞かせをしたり、学級文庫や学校図書館の環境を整えたりして、本の楽しさを伝えるとともに、児童が自身の力で選んだ本を読み通すことができるよう、仮名や漢字の読み書き、言葉あつめ、文作り、音読、視写、暗唱など普段の活動を重視し、それらを繰り返して多くの知識及び技能を習得させ、児童に確かな読みの力としての思考力、判断力、表現力を身に付けさせることが重要だと考える。

本単元の後、児童はここで獲得した読みの力を活用して、本単元で行われた「ショウアンドテル」から「ブックトーク」や「ビブリオバトル」「読書会」など音声言語を用いた活動や「紹介カード」「おはなしボックス」「帯紙」「ブックカバー」「ポップ」「パンフレット」「リーフレット」など文字言語を通して読みを深め、広げ、表現していく活動へと発展させていく。

(2) 児童の実態

(省略)

【事前調査】

(省略)

【考察】

(省略)

(3) 指導観

本単元では、言語活動例「オ　読んだ本について、好きなところを紹介すること。」に基づき、動物の出てくるお話を読み、お気に入りの1冊を選んでショウアンドテルで紹介する活動を設定し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、千葉県教育委員会の示す「思考し、表現する力」を高める実践プログラムに基づいて学習を進める。

第一次（見出す）では、児童に課題を明確にさせるために、教師が「動物キャラクターカード」を用いて本を紹介し、学習のゴールを示す。第二次（自分で取り組む）では教材文の紹介カード作りを通して文学的文章の読み方を学ぶ。第三次（広げ深める）には、お気に入りの本を紹介する活動を設定する。第二次で身に付けた力を活用して各々がお気に入りの本の紹介カードを作成し、自分の考えを形成し表現する。自分の考えを伝え、友達の考えを聞き、互いに学び合うことを通して新たな考えに気付かせたい。第四次（まとめあげる）は、友達の薦める本を読み、読書への関心や意欲をさらに高める過程としたい。

本来、読書とは個人的な活動で、一人静かに楽しむものである。しかし、本を読めば必ず何か驚きや発見があり、感想や感動が生じてくる。平仮名やわずかな漢字しか読むことのできない1年生にとって、1冊の本を自分一人の力で読み通すことは、大変困難な活動である。しかし、その先に、自分の思いを友達と共有できるという楽しみがあれば、意欲もわいてくる。友達を喜ばせるために一番おもしろい本

様式2

を探そうと必死になり進んで並行読書に取り組むことができるのではないだろうか。また、生き物に強い興味を示す1年生にとって「動物の出てくる本」は大変親しみ易く、気軽に本を手取るきっかけとなるだろう。こうして読書経験を増やすことにより、必ずお気に入りの1冊に出会えるに違いない。

紹介の方法については、2人で1冊の本のページをめくりながらお気に入りの場面を指さし、ゆったりと本の世界を共有することが1年生には望ましい。加えて今回は、登場人物の行動に着目し想像を広げて読ませるために、性格を考えるクイズ「〇〇は、どんな動物」を取り入れることとする。「〇〇は、どんな動物でしょう。」「～したから△△な性格だと思いました。」「わたしだったら、・・・と思います。」などの話型を与え、友達との交流を広げられるようにしたい。クイズを成立させるためには、性格に関する言葉を集めた語彙表を配付し、読書記録を書くたびに活用し、語彙を増やしたい。

また、児童の読書意欲を高めるためには、学校司書に協力を仰ぎ、週1回の図書の時間に動物の出てくる本の読み聞かせを実施し、児童に本の楽しさを十分味わわせる。学校図書館に、動物の出てくる本を飾ったり紹介したりするコーナーを設け、児童が楽しく本を読むことができる環境を整え、本選びの支援にしたい。本単元の最後には「動物お話ブックトーク」を実施し、次なる読書活動へとつなげていきたい。

3 単元の目標

- ・読書に親しみ、本の楽しさを共有しながら交流しようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- ・登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。
(読むこと)
- ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

4 評価の観点と規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・動物が出てくる本を進んで読み、登場人物に対する思いが伝わるように本の楽しさを共有しながら交流しようとしている。	・自分の経験と結び付けて、登場人物の性格について、自分の思いや考えをまとめ、発表し合おうとしている。(オ)	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 イー(ア)

様式 2

5 指導計画（10時間扱い）

次	時	学習活動と内容	支援 (◎) と評価 (◇)
一 見出す	1	<p>「動物キャラクターカード」を作ってお気に入りの本を紹介しよう。</p> <p>○動物キャラクターカード（ショウアンドテル形式でお気に入りのおはなしを紹介する）のモデルを見て紹介の仕方について知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○お気に入りの本の紹介に向けて、進んで動物の出てくるお話を読もうとする意欲をもつ。</p>	<p>・本単元に入る前から並行読書を始め、動物の出てくるおはなしに親しませておく。</p> <p>◎お気に入りの場面に付箋を貼りながら読ませ、1冊読むごとに、簡単に記録させる。</p> <p>資料①「動物キャラクターカード」</p> <p>①題名 ②作者名 ③動物の絵 ④クイズ 性格と理由 行動や会話を根拠として考える ⑤感想 自分の経験と結び付ける</p> <p>◇動物の出てくるお話に対して興味をもち、進んで、読もうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)</p>
二 自分で取り組む	2 ・ 3 4 ・ 5	<p>「りすのわすれもの」から お気に入りの場面を見つけよう。</p> <p>○「りすのわすれもの」の 範読を聞き登場人物やあらすじをつかむ。</p> <p>○様子を想像しながら、全文を読み、お気に入りの場面やその理由となる会話や行動をおさえる。</p> <p>○お気に入りの場面を音読して、紹介し合う。</p> <p>「動物キャラクターカード」を作り、本の紹介の練習をしよう。</p> <p>○りすのわすれものを読み、「動物キャラクターカード」を作る。</p>	<p>・りすのわすれものを通して、物語の読み方を学ばせる。</p> <p>◎挿絵などを用いて、物語の流れや特徴（回想の中のたろすけ）、登場人物の行動を確認させ、想像を広げて読ませる。</p> <p>◎「いいなあ。」とおもった場面や箇所に付箋を貼り、心に響いた会話や行動に、登場人物別に色分けして、線を引かせる。</p> <p>赤・さんた 青・たろすけ 緑・くるみの おじいさん</p> <p>◇自分の好きな場面の様子について登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読んでいる。(ウ)</p> <p>◎教師のモデルカードを提示し、物語の読み方、紹介の仕方を学ばせる。</p> <p>◎「いいな。」と思った行動や会話に着目させ、語彙表を活用して、</p>

	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面を選び、登場人物 (キャラクター) の行動や会話から性格 (キャラクター) をつかみ、クイズをつくる。 ・感想を書く。 ○カードをもとに紹介 (ショウア ンドテル) の練習をする。 ○「動物キャラクターカード」を用いて、お気に入りの登場人物を紹介する。 ・聞き手は、クイズの答えとその理由に納得がいくかなど、紹介者に感想を伝える。 ○気付きや思いを学級で話合う。 ○友達のアドバイスを受けてカードを書き直したり、他の友達と交流したりする。 	<p>キャラクターづけさせる。 資料②「語彙表」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいな。」と 思った行動や会話を根拠としてクイズを作らせる。 ・自分の経験と結び付けて感想を書かせる。 ◇自分の好きな場面の様子について さんた、たろすけ、くるみのおじいさんの行動や会話に着目して、想像を広げて読んでいる。(ウ) ・カードの書き方や内容、本の紹介の仕方などを確認し、第三次へつなげるようにする。 ◇自分の経験と結び付けて登場人物の性格を考えたり感想をもったりして本を紹介している。(オ)
三 広 げ 深 め る	7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>「お気に入り本の紹介」のための準備をしよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○選んだお気に入りの本をもう一度よく読む。 ○前時を生かして、一番お気に入りの本で「動物キャラクターカード」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書を通して、全員が共通する5冊の本を読み、その中から自分が最も紹介したい本を事前に決めさせておく。 ・お気に入りの部分に付箋を貼りながら、本を読ませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○「いいな。」「おもしろいな。」 と 思った場面や箇所。 ○心に響いた行動や会話。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎「いいな。」と 思った行動や会話に着目させ、語彙表を活用して、キャラクターづけさせる。 ・お気に入りの場面から「いいな」と思った行動や会話を根拠として書き抜き、クイズを作らせる。 ・自分の経験を想起して感想を考えさせる。 ・本のよさや面白さを伝える文や文章を考えさせてもよい。

9 本 時	<p>○隣席の児童でペア作り、紹介（ショウアンドテル）の練習を行い、必要に応じて、カードを推敲する。</p>	<p>◇自分の経験と結び付けて登場人物の性格を考えたり感想をもったりして本を紹介している。（オ）</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1 番のお気に入りの本を紹介しよう</div> <p>○「どうぶつキャラクターカード」をもとに、本を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 人の間に本を置き、お気に入りの場面を開く。 ・ カードを聞き手に向けて持ち、クイズを混ぜながら、本を紹介する。 ・ 聞き手は、感想や質問を伝える。 ・ 話し手を交替する。 ・ 早く終わった場合は、紹介された本を読む。 <p>○学習の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前半は、違う動物同士で、後半は、同じ動物同士でペアを組み本を紹介させる。 ・ 友達の発表を聞き物語への興味・関心を高め、物語を読む楽しさを味わわせる。 <p>◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（ア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介終了後、同じ動物同士をまとめて模造紙に貼り、掲示する。 ・ 紹介された本や読書についての気付きや思いを記録させ、自由に発表させる。 <p>◇お気に入りの登場人物の性格を通して本を紹介し合い、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。（オ）</p> <p>◇動物が出てくるお話に親しみ、本の楽しさを共有しながら交流しようとしている。 （国語への関心・意欲・態度）</p>

様式2

<p>四</p> <p>まとめあげる</p> <p>学習後</p>	<p>10</p> <p>○紹介された本を読む。</p> <p>○「よかったよカード」を記入し、紹介者に渡す。</p> <p>・「お話動物園」のカードの横に自分の名前シールを貼る。</p> <p>○学校司書による「ブックトーク」を聞く。</p> <p>○しばらくの間、学校図書館に「動物キャラクターカード」を掲示してもらい、他学級や他学年にも見てもらおう。</p>	<p>・共通の5冊以外のお気に入りの本の題名と作者名をカードに記入し「お話動物園」を作っておく。</p> <p>・紹介された本を動物の種類別に並べ、自由に読めるようにする。</p> <p>◎簡単な感想を書かせ、両者に達成感を持たせる。</p> <p>・本を読んだらカードの横に読んだ人の名前シールを貼るようにさせる。</p> <p>◎読書への関心・意欲が一層高まるようにする。</p> <p>◇お気に入りの本を紹介し合い、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。(オ)</p> <p>◇動物が出てくるお話に親しみ、本の楽しさを共有しながら交流しようとしている。 (国語への関心・意欲・態度)</p> <p>・希望者には、休み時間に、学校図書館で、本の紹介をさせる。</p>
-----------------------------------	--	--

6 本時の指導 (9 / 10)

(1) 目標

- ・動物が出てくるお話に親しみ、本の楽しさを共有しながら交流しようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- ・お気に入りの登場人物の性格を通して本を紹介し合い、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。
(読むこと)
- ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
(言語に関する知識・理解・技能)

様式2

(2) 展開

時配	学習活動と内容	支援 (◎) と評価 (◇)
3	1. 学習目標を確認する。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 一番お気に入りの本を 友達に 紹介しよう。 </div>		
7	2. 教師の紹介モデルを見る。 ・ 2人の間に本を置き、お気に入りの場面のページを開く。 ・ ①クイズ②感想の順で紹介する。 ・ 聞き手は、質問や感想を伝える。 ・ 早く終わった場合は、紹介された本を読んで待つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 並行読書を通して、全員が共通する5冊の本を読み、その中から自分が紹介したい本を事前に決めさせておく。 ・ 思いを伝えるために作った「動物キャラクターカード」を見せながら、自分のお気に入りの本を友達に、ショウアンドテルで紹介することを知らせる。 ◎紹介モデルを見せ、重点を確認する。 ・ 学校司書と二人で交流のもち方のモデルを示す。 ・ 場面の様子や話のあらすじを簡単に伝えると、より伝わることを知らせる。
1 8	3. 「動物キャラクターカード」をもとに、本を紹介する。 ・ 隣席の友達と ・ 同じ動物同士で	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性格を答えるときは、語彙表を指さしてもよい。 ・ 友達の発表から本を読む楽しさを味わわせ、読書への興味・関心を高めさせる。 ◎交流が円滑に進むよう巡視する。
7	4. 動物ごとに、模造紙にカードを貼り、個人の記録用紙に感想等を記入する。 ・ 理由も書く。	◇お気に入りの登場人物の性格を通して本を紹介し合い、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。 (オ)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紹介された本や読書についての気づきや思いを自由に記入させる。 ・ そのように思った理由も書かせる。どこが、上手だったのか。 		

様式 2

8	<p>5. 学習の振り返りを行う。 ・交流を通しての気づきを発表し合う。</p>	<p>おもしろかったのか。 なぜ、その本を読みたくなったのか。</p> <p>：お話のもつ魅力。 ：おすすめ文の言葉のよい所。</p> <p>・理由も交えて、思いを発表させる。 ・自分自身への気づきも考えさせる。</p>
2	<p>6. 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・次時は、友達のおすすめの本を読む時間とすることを伝える。</p> <p>◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている イー（ア）</p> <p>◇動物が出てくるお話に親しみ、本の楽しさを共有しながら交流しようとしている。</p> <p>（国語への関心・意欲・態度）</p>

(3) 板書計画

たのしくよんで
 本を しょうかいしよう

④ いちばんおきにいりの 本を
 ともだちに しょうかいしよう。

・ちがう どうぶつと
 ・おなじ どうぶつと

・はやくおわったら、
 しょうかいされた本を
 よ
 んで
 まつ。

きょうの がくしゅうで

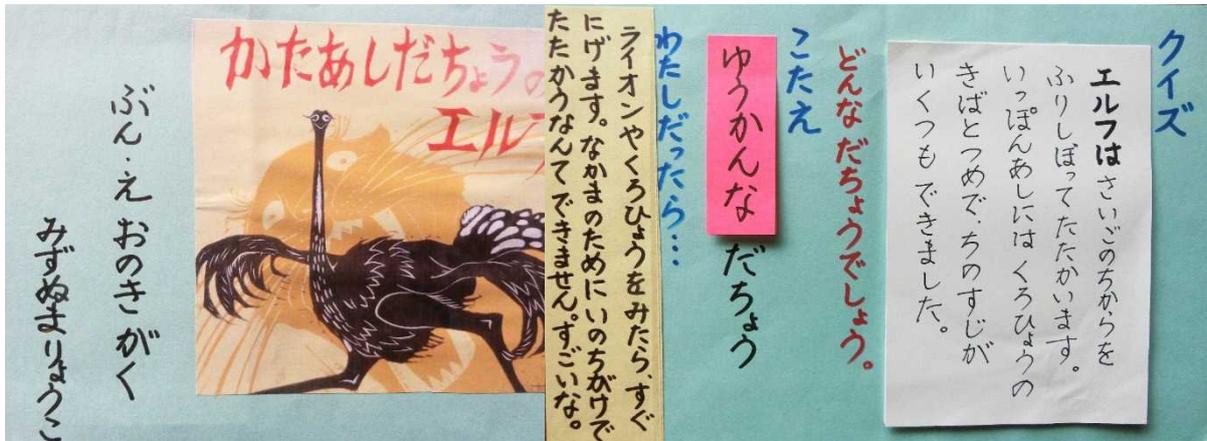
わかったこと
 おもったこと
 かんがえたこと

様式 2

7 資料

①モデルカード 表面

裏面



② 登場人物の性格語彙表

おはなしに でてきたのは、どんな どうぶつでしたか。

1ねん 5くみ ()

とうじょうじんぶつの せいかくを あらわすことば

<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい ・しんせつな ・おもいやりのある ・なかまおもいの ・きのいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじわるな ・わるい ・おもいやりのない ・ずるい ・ひきょうな 	<ul style="list-style-type: none"> ・りこうな ・かしこい ・ちえのある ・あたまのいい
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうきのある ・ゆうかな ・いさましい ・きがつよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうきのない ・おくびょうな ・いくじのない ・きのよわい ・こわがりな 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆかいな ・あかるい ・あわてんぼう ・わすれんぼう
<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりや ・がまんづよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちからもち ・ちからづよい ・らんぼうもの ・きかんぼう ・あばれんぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・しょうじきな ・しょうじきもの
<ul style="list-style-type: none"> ・のんきな ・のんびりや 		<ul style="list-style-type: none"> ・わがままな ・じぶんかってな